

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1-42	令和5年度「第2回墨田区がん対策推進会議」	
開催日時	令和6年3月19日(火) 午後1時半から午後3時まで		
開催場所	墨田区役所8階82会議室		
出席者数 (21人)	<p>【外部委員】渡邊清高、五嶋孝博、福井一人、鴨川大助、武井和彦、白石弘子、桜井なおみ、轟千代佳、駒場誠弥、椎名美恵子、高木恒子、風間利昭 (敬称略)(計12人)</p> <p>【部内関係者】保健衛生担当次長、向島保健センター所長、本所保健センター所長 (計3人)</p> <p>【事務局】保健計画課長、保健計画課健康推進担当主査2人 保健計画課健康推進担当主事3人(計6人)</p>		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公開(傍聴できる)	<input type="checkbox"/> 部分公開(部分傍聴できる)	<input type="checkbox"/> 非公開(傍聴できない)
		傍聴者数	0人
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 保健衛生担当次長より挨拶 3 委員等紹介・欠席者報告 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) がん対策の最近の動き (2) 専門部会の報告について (3) 令和5年度のがん対策事業の実施状況について (4) 令和6年度のがん対策推進会議と専門部会について (5) 墨田区がん対策推進計画の策定概要について (6) その他 5 閉会 		
配布資料	<p>【机上配布資料】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年度「墨田区がん対策推進会議」委員名簿 2 第4期がん対策基本計画概要及び東京都がん対策推進計画(第三次改定案)概要 3 令和5年度「がん検診精度管理部会」の報告 4 令和5年度がん対策事業の実施状況 <ol style="list-style-type: none"> 4-2 ウィッグ購入費等助成事業報告 4-3 がんに関する区民意識調査の結果 5 令和6年度「墨田区がん対策推進会議」の概要(案) <ol style="list-style-type: none"> 5-2 令和5年度「がん検診精度管理部会」の概要(案) 5-3 令和6年度がん対策推進計画策定部会の概要 		

	6 墨田区がん対策推進計画改定の概要
	7 ご意見・ご質問シート
会議概要	<p>1 開会・挨拶</p> <p>2 保健衛生担当次長より挨拶</p> <p>3 委員等紹介・欠席者報告</p> <p>4 議事</p> <p>(1) がん対策の最近の動き 資料2に基づき、渡邊会長より説明</p> <p>(2) 専門部会の報告について 資料3に基づき、事務局より説明</p> <p>【意見・質問等】</p> <p>渡邊会長：医師会の福井委員はがん検診精度管理部会にもご出席いただいている。ただ今の報告に補足等あったらお願いしたい。</p> <p>福井委員：今年度の検討で一番大きいのは、8ページの「全対象者への個別勧奨実施」となる。以前港区の病院に勤めていたが、港区では大分前から個別勧奨が実施されていて、区民は自分が今年受けられるがん検診が送られて来たもので全て分かり、墨田区も早くそうなるとうい話をしてきたが、予算の関係で実施されなかった。まずは胃がん検診の内視鏡検査から試行的に行う。2年おきの検診から始めて令和8年度からは全てのがん検診で行う予定。ここで胃がん検診が上手くいかないと、色々と難渋すると思うので、墨田区医師会・実施医療機関で協力しながら実施していきたいと思っている。</p> <p>福井委員：令和7、8年から新しくなる健康管理システムについて、マイナンバーとの紐づけはあるか？</p> <p>事務局：機能として入っている。</p> <p>福井委員：マイナポータルで健康管理の一環として、検診結果を見ることが出来るようになるのか？</p> <p>事務局：今現在も、マイナポータルと連携しており、がん検診の結果がシステムに取り込まれたら、ご自身で検診の結果を確認することができる。引き続き新しいシステムにも導入される。</p> <p>渡邊会長：個別勧奨はなかなか一気には難しい。三年に渡って、徐々に課題を洗い出しながら推進されると良いと思う。HPV検査も新しく始まり、また他のがん検診も見直しの動きがあることを見据えながらということにな</p>

る。

(3) 令和5年度のがん対策事業の実施内容について

資料4に基づき、個別目標1「科学的根拠に基づくがん予防の充実」について事務局より説明

【意見・質問等】

渡辺会長：がん予防ということで、主にたばこ対策の話をしていただいた。リモートで参加の薬剤師会の白石委員、区が主催するがんイベントにおいて、薬剤師会としても禁煙についての相談コーナー設置や、各薬局でがん検診の案内パンフレットを配布等、禁煙対策を始めとして、様々な取組を行っていると聞いている。禁煙治療費補助事業の状況や、薬剤師会の取組についてコメントをいただきたい。

白石委員：禁煙サポート薬局というのを薬剤師会では会員薬局に募集をしているが、毎年40件近くの申込がある。そこに対して毎年1回禁煙サポート薬局研修会を開催している。区から講師を派遣してもらい、現状報告等を聞いて勉強している。

今、チャンピックスという禁煙補助剤が無くて、色々な薬局が困っているが、こうした状況の中ではあるが、禁煙の意向がある対象者には積極的に対応している。

渡辺会長：制約はあるが、啓発や動機付けについて意識づけをしていただいで感謝する。

続いて、本所歯科医師会の武井委員、歯科医師会では毎年成人歯科検診や妊産婦の歯科検診等を実施されているが、禁煙等の啓発をされている中でお気づきの点があればコメントをいただきたい。

武井委員：妊産婦歯科健診の中では母子手帳も活用して、禁煙関係のことをお母さん方に話をしている。保育園や学校の保健の先生とも話し合いの場を設けている。また、私は学校で禁煙、たばこの怖さを生徒に教える授業も持っていて、多くの区民の方に啓発活動をしている。

渡邊会長：同じく、向島歯科医師会の鴨川委員にもコメントをいただきたい。

鴨川委員：成人歯科健診、妊婦健診等を通して、喫煙者に対して禁煙指導を行っている。また、喫煙に関するリーフレットも各医院に置いて、普及啓発を行っている。

渡邊会長：色々な機会啓発をしていただいでいるという話をいただいた。

続いて個別目標2について、引き続き資料4から説明をお願いします。

資料4に基づき、個別目標2「がんを早期発見するためのがん検診の充実」について事務局より説明

【意見・質問等】

渡邊会長：風間委員、報告の中で将来的に全てのがん検診の対象者の方に、個別に案内を送りたいとの説明があったが、受診率向上に向けてこういった取組はいかがか？

風間委員：非常にありがたいと思う。今、胃とか大腸の内視鏡検査をする際の痛み止めの注射が一般的に広まってきているので、それを洗練していただきたい。例えばそこで引っかかっても痛み止めを打てば全然気にならないで済むので、比較的容易に気楽に行ける状況になり、受診率も良くなると思う。

福井委員：区のがん検診の内視鏡検査の場合は、痛み止め麻酔はしないことになっている。痛み止め麻酔をすると、事故が増えると今まで言われていて、微々たる差だが、症状がある患者に起きた時の事故と、症状が無くて、念のための検査でやる時に起きた事故だと重大さが違う。そのためがん検診においては、痛み止め麻酔は使わないということになっている。

風間委員：会社の検診では比較的楽に受診できると言ってくれるので、良い方法だと思う。ぜひ導入していただきたい

桜井委員：今度の一か所で全部受けられる検診の制度は、区民の声に応えた対応になって、本当に素晴らしいなと思った。引き続き検討をお願いしたい。

渡邊会長：墨東病院の五嶋委員にうかがいたい。区のがん検診においては、医療機関との連携がとても重要だが、都立墨東病院では今後区のがん検診事業との連携で、どのような取組が考えられるか？

五嶋委員：病院としては、一次検診は実施していないが、やはり一次検診で異常が見つかった方の精密検査は積極的に受け入れ、連携を円滑にするための会議等への出席は、申し付けいただければ対応したい。

渡邊会長：精検受診率の向上も非常に重要なテーマ。よろしく願いしたい。
続いて個別目標3・4について、事務局から説明をお願いする。

資料4に基づき、個別目標3「がんに関する正しい知識の普及啓発・健康教育の充実」個別目標4「がん患者が尊厳を保ちつつ安心して暮らすことのできる地域社会の実現」について事務局より説明

資料4 - 2に基づき、ウィッグ購入費等助成事業について事務局より説明

【意見・質問等】

渡邊会長：がん教育やがんに関する情報提供、がん患者が尊厳を持って安心して暮らすことのできる地域社会の実現等についてお話いただいた。ただ今の説明について、意見・質問等はあるか？

桜井委員：ウィッグ等の購入助成の制度については、かなりの方が利用されていると感じた。こちらは東京都でも助成金制度があるが、両方に申請可能なのか？

事務局：東京都の助成は、あくまで自治体に対しての補助。墨田区民の方は、直接補助をしている墨田区に申請することになる。

桜井委員：（東京都の自治体への補助制度は上限10万円に設定しているが）10万円以上のウィッグを買えるのは、経済的に余裕のある方達だと思って、助成がスタートする時にも課題と言われていた。墨田区は、少額の人達にも使えるような仕組みを作っていただけなので、3万円位の買ってる方達にとってすごく大きなサポートになったと思う。

渡邊会長：せっかくなので、轟委員からも今の件でコメントあるか？

轟委員：助成制度は、申請した額によってではなく、申請はあくまでかかった額を全額申請するのか？

事務局：領収書が何枚であっても、3万円を超えるまで、一年以内の領収書を合わせて良いという制度としており、皆さんウィッグだと一枚だけで3万円を超えてしまう場合がほとんど。下着等だと2回買って両方で3万円前後になるというような申請をいただいている。

轟委員：その方式はすごくありがたいと思う。周知していただいて助かる。

渡邊会長：轟委員にがん教育についてうかがいたい。区のがん教育に協力いただいているが、意見・感想等はあるか？

轟委員：患者の団体と学校の打ち合わせが不十分な点はいくつかあり、その件も研修会のような形があれば良いとの意見があった。

また、アンケートの結果が先生方に全部周知出来ているのか疑問があるので、部会で改善していきたいと思う。

渡邊会長：フィードバックが迅速に戻れば改善にも繋がると思う。

駒場委員：緩和ケア病棟に入院してくる方は最後の段階なので、ウィッグや下着が話題に出ることは少ないが、自宅にいる間は必要だと思うので、ぜひ引き続きお願いしたい。

渡邊会長：椎名委員に訪問看護についてうかがいたい。地域に関する訪問相談やグリーンケアを行っているということで、取組を通じて現場の患者の

ニーズを簡単にご紹介いただきたい。

椎名委員：私は、訪問看護ステーション協会に参画しているが。情報提供としては、4月以降、一層在宅の24時間体制の強化の検討が進められているので、皆さんにまた有効活用して欲しいと思っている。

渡邊会長：続いて、今年度の取組の一つということで、資料4-3について、説明をお願いしたい。

資料4-3に基づき、「がんに関する区民意識調査」について事務局より説明

【意見・質問等】

渡邊会長：大変詳細に分析されていると思う。何か意見・質問等はあるか？

桜井委員：5ページにある、「がんの対策で期待すること」でも、迅速に対応されたのは素晴らしいと思っている。一方で、数は少ないが若年のがん患者の在宅療養支援、これは元々全体のがん患者の中で2%しかいないが、ここで10%の声があったのは大きいと感じた。東京都の方も少し動きがあるようなので、ぜひ区でも来年度以降検討していただけると、取り残しのない人達が救われていくと思った。

高木委員：私が関わっているのはお年寄りが多いが、健康診査は受けてるが、がん検診を受けるように促すにはどのように声掛けしたらよいか伺いたい。

渡邊会長：今後また、個別勧奨が始まってくると、どういう属性とかどういう年代の方が受診率が低いとか、場合によっては地域を分析したりということも実際あるが、よりきめ細かく受診の声掛けのアプローチも変わってくる。

(4) 令和6年度のがん対策推進会議と専門部会について、
資料5、5-2、5-3に基づき、事務局より説明

【意見・質問等】

渡邊会長：ただ今の説明について、意見・質問はあるか？

では、来年度のがん対策推進会議と専門部会については資料のとおり、承認いただきたい。

(5) 墨田区がん対策推進計画の策定概要について
資料6に基づき、事務局より説明

	<p>渡邊会長：皆様方、色々な意見感謝する。次年度は墨田区においてもがん対策推進計画の改定に取りかかると聞いている。この推進会議では、今後の区のがん対策の方向性を決めるために、皆様方の意見が重要になると思うので、更に議論を深めて、施策に反映出来る部分はぜひ反映して欲しい。以上をもって、本日の議事はすべて終了となる。</p> <p>5 閉会</p> <hr/> <p style="text-align: center;">会議の概要は以上である。</p>
所 管 課	福祉保健部 保健衛生担当 保健計画課 健康推進担当 (内線 3534)